

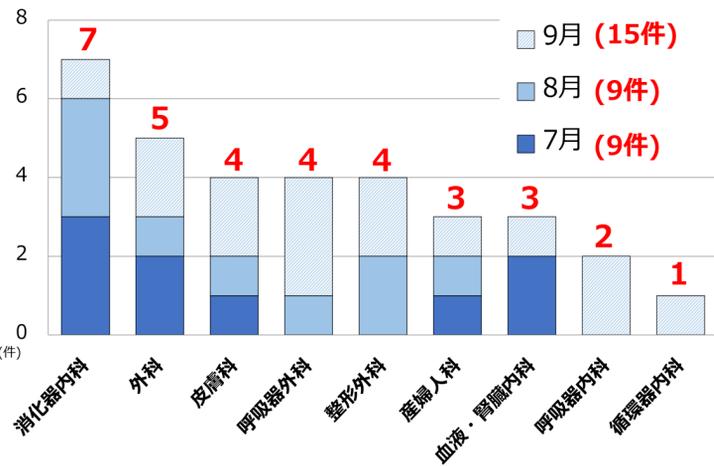
緩和ケア通信【68号】



能代厚生医療センター 緩和ケアチーム
2024年(令和6年)11月11日発行

1. 緩和ケアチーム依頼

R6.7月～9月 新規依頼 **33件**



7月～9月 緩和ケアチーム かかわりの一例

- ①60代 男性 消化器内科
膵癌 BSC・DNAR方針
本人・家族より最期まで
自宅で過ごしたいと希望あり
自宅退院された
- ②70代 男性 循環器内科
包括的高度慢性下肢虚血
疼痛コントロールの依頼あり、
モルヒネの経口投与開始

2. 患者さんの支援

入院時にスクリーニングを実施しています

- *目的
地域がん診療病院として
入院時から苦痛を評価、
早期から緩和ケア提供する
- *対応
緩和ケア希望する方、
苦痛の強い方へ早期介入、
病棟スタッフと協同する

苦痛のスクリーニングシート

氏名(姓) 姓 名 姓 名
病室番号
年齢 性別

病棟の苦痛を評価し、つらさについてお答えください。
回答が不明な場合は、スタッフに相談をお願いします。

① 今、感じている苦痛はどのくらいですか？

② 痛み、吐き気、嘔吐、便秘、下痢、食欲不振、脱水、疲労、不安、不安定な歩行について

③ 「ある」と感じるほど、つらさの程度を自由に書き込んでください。

④ 上記の項目について、主治医の病棟スタッフのスタッフに
相談をお願いします。

全く不要
 必要が少なく、ほとんどない
 必要が少しあり、早期介入
 必要はない

この表は病棟スタッフにのみ見せます

緩和ケアセンター

3. お知らせ

1. 部署ごとの勉強会おこなっています
(地域がん診療病院の要件です)

- ①②9月13日、19日 7B病棟、7A病棟
苦痛のスクリーニングと
緩和ケアに関する加算について
- ③9月25日 5B病棟
苦痛のスクリーニング
(内容や対応)と
緩和ケアの依頼について

令和5年度 苦痛のスクリーニング実施件数



2. 秋田県緩和ケアチーム Webカンファレンス

参加: 15病院
日時: 9月24日(火) 16:00～17:00
内容: 本荘第一病院 提供事例
『自壊創・コントロール不良の
がん性疼痛を有する事例』
50代男性。
疼痛コントロールと
自壊創の処置や臭い対策について
事例検討を行った。